

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド30（安定型）

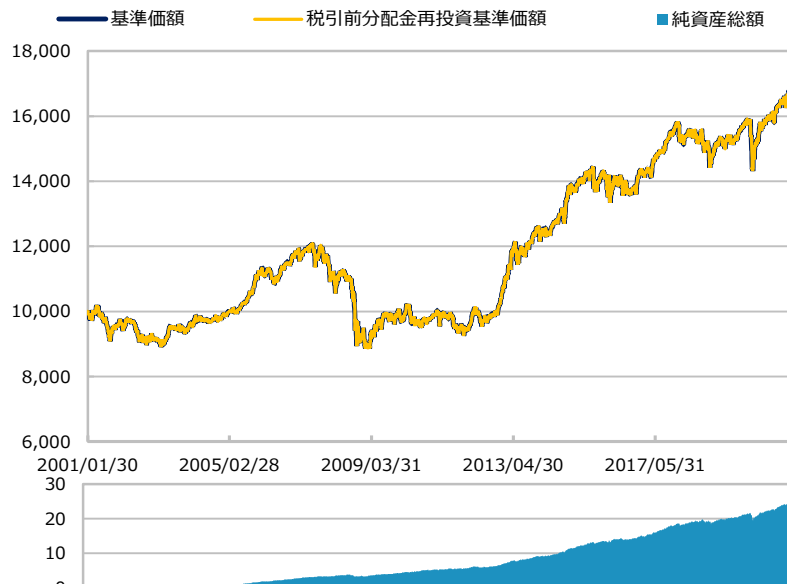
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

ファンド設定日：2001年01月31日

日経新聞掲載名：LV30

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

|            | 当月末    | 前月比 |
|------------|--------|-----|
| 基準価額（円）    | 16,717 | +44 |
| 純資産総額（百万円） | 2,449  | +1  |

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

|      | 基準日        | ファンド |
|------|------------|------|
| 1 カ月 | 2021/03/31 | 0.3  |
| 3 カ月 | 2021/01/29 | 2.1  |
| 6 カ月 | 2020/10/30 | 5.8  |
| 1 年  | 2020/04/30 | 9.4  |
| 3 年  | 2018/04/27 | 8.2  |
| 設定来  | 2001/01/31 | 67.2 |

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

| 期     | 決算日        | 分配金 |
|-------|------------|-----|
| 第16期  | 2017/01/30 | 0   |
| 第17期  | 2018/01/30 | 0   |
| 第18期  | 2019/01/30 | 0   |
| 第19期  | 2020/01/30 | 0   |
| 第20期  | 2021/02/01 | 0   |
| 設定来累計 |            | 0   |

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

|         | 基本配分  | 当月末   | 基本配分との差 | 前月比  |
|---------|-------|-------|---------|------|
| 株式計     | 30.0  | 30.1  | +0.1    | +0.0 |
| 国内株式マザー | 20.0  | 19.8  | -0.2    | -0.1 |
| 外国株式マザー | 10.0  | 10.3  | +0.3    | +0.1 |
| 債券計     | 65.0  | 65.0  | -0.0    | -0.0 |
| 国内債券マザー | 45.0  | 45.0  | +0.0    | +0.1 |
| 外国債券マザー | 20.0  | 19.9  | -0.1    | -0.1 |
| 現金等     | 5.0   | 4.9   | -0.1    | +0.0 |
| 合計      | 100.0 | 100.0 | 0.0     | 0.0  |

※ 各組入マザーファンドの正式名称は4枚目以降をご覧ください。

## 基準価額の変動要因(円)

|      | 寄与額  |
|------|------|
| 国内株式 | -70  |
| 外国株式 | +131 |
| 国内債券 | +15  |
| 外国債券 | -2   |
| 為替   | -16  |
| 分配金  | 0    |
| その他  | -14  |
| 合計   | +44  |

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド50（標準型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

ファンド設定日：2001年01月31日

日経新聞掲載名：LV50

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

|            | 当月末    | 前月比  |
|------------|--------|------|
| 基準価額（円）    | 18,072 | +122 |
| 純資産総額（百万円） | 4,846  | +49  |

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

|      | 基準日        | ファンド |
|------|------------|------|
| 1 カ月 | 2021/03/31 | 0.7  |
| 3 カ月 | 2021/01/29 | 3.8  |
| 6 カ月 | 2020/10/30 | 10.0 |
| 1 年  | 2020/04/30 | 16.4 |
| 3 年  | 2018/04/27 | 13.3 |
| 設定来  | 2001/01/31 | 80.7 |

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

| 期     | 決算日        | 分配金 |
|-------|------------|-----|
| 第16期  | 2017/01/30 | 0   |
| 第17期  | 2018/01/30 | 0   |
| 第18期  | 2019/01/30 | 0   |
| 第19期  | 2020/01/30 | 0   |
| 第20期  | 2021/02/01 | 0   |
| 設定来累計 |            | 0   |

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

|         | 基本配分  | 当月末   | 基本配分との差 | 前月比  |
|---------|-------|-------|---------|------|
| 株式計     | 50.0  | 50.1  | +0.1    | -0.1 |
| 国内株式マザー | 30.0  | 29.6  | -0.4    | -0.3 |
| 外国株式マザー | 20.0  | 20.5  | +0.5    | +0.2 |
| 債券計     | 45.0  | 45.1  | +0.1    | +0.1 |
| 国内債券マザー | 30.0  | 30.1  | +0.1    | +0.2 |
| 外国債券マザー | 15.0  | 15.0  | -0.0    | -0.1 |
| 現金等     | 5.0   | 4.8   | -0.2    | -0.1 |
| 合計      | 100.0 | 100.0 | 0.0     | 0.0  |

※ 各組入マザーファンドの正式名称は4枚目以降をご覧ください。

## 基準価額の変動要因(円)

|      | 寄与額  |
|------|------|
| 国内株式 | -113 |
| 外国株式 | +282 |
| 国内債券 | +11  |
| 外国債券 | -2   |
| 為替   | -36  |
| 分配金  | 0    |
| その他  | -19  |
| 合計   | +122 |

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド70（積極型）

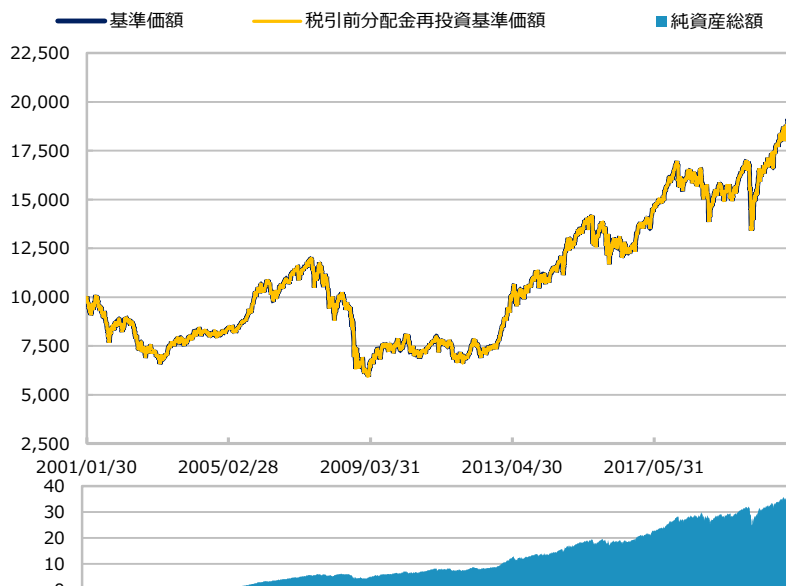
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

ファンド設定日：2001年01月31日

日経新聞掲載名：LV70

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

|            | 当月末    | 前月比  |
|------------|--------|------|
| 基準価額（円）    | 19,028 | +207 |
| 純資産総額（百万円） | 3,674  | +31  |

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

|      | 基準日        | ファンド |
|------|------------|------|
| 1 カ月 | 2021/03/31 | 1.1  |
| 3 カ月 | 2021/01/29 | 5.4  |
| 6 カ月 | 2020/10/30 | 14.5 |
| 1 年  | 2020/04/30 | 23.7 |
| 3 年  | 2018/04/27 | 17.9 |
| 設定来  | 2001/01/31 | 90.3 |

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

| 期     | 決算日        | 分配金 |
|-------|------------|-----|
| 第16期  | 2017/01/30 | 0   |
| 第17期  | 2018/01/30 | 0   |
| 第18期  | 2019/01/30 | 0   |
| 第19期  | 2020/01/30 | 0   |
| 第20期  | 2021/02/01 | 0   |
| 設定来累計 |            | 0   |

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

|         | 基本配分  | 当月末   | 基本配分との差 | 前月比  |
|---------|-------|-------|---------|------|
| 株式計     | 70.0  | 70.1  | +0.1    | -0.1 |
| 国内株式マザー | 40.0  | 39.5  | -0.5    | -0.3 |
| 外国株式マザー | 30.0  | 30.6  | +0.6    | +0.2 |
| 債券計     | 25.0  | 25.0  | +0.0    | -0.0 |
| 国内債券マザー | 15.0  | 15.1  | +0.1    | +0.1 |
| 外国債券マザー | 10.0  | 9.9   | -0.1    | -0.1 |
| 現金等     | 5.0   | 4.9   | -0.1    | +0.1 |
| 合計      | 100.0 | 100.0 | 0.0     | 0.0  |

※ 各組入マザーファンドの正式名称は4枚目以降をご覧ください。

## 基準価額の変動要因(円)

|      | 寄与額  |
|------|------|
| 国内株式 | -160 |
| 外国株式 | +444 |
| 国内債券 | +6   |
| 外国債券 | -1   |
| 為替   | -58  |
| 分配金  | 0    |
| その他  | -23  |
| 合計   | +207 |

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「国内株式マザー：国内株式マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（％）

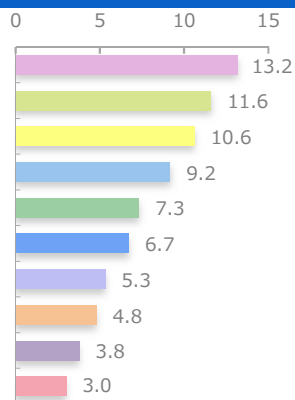
|     | 当月末   | 前月比  |
|-----|-------|------|
| 株式  | 96.5  | -0.4 |
| 先物等 | 0.0   | 0.0  |
| 現金等 | 3.5   | +0.4 |
| 合計  | 100.0 | 0.0  |

## 騰落率（税引前分配金再投資）（％）

|     | 基準日        | ファンド  |
|-----|------------|-------|
| 1か月 | 2021/03/31 | -2.1  |
| 3か月 | 2021/01/29 | 2.8   |
| 6か月 | 2020/10/30 | 14.4  |
| 1年  | 2020/04/30 | 28.6  |
| 3年  | 2018/04/27 | 13.2  |
| 設定来 | 2001/01/31 | 156.6 |

## 組入上位10業種（％）

|             | 当月末  | 前月比  |
|-------------|------|------|
| 1 化学        | 13.2 | +0.3 |
| 2 サービス業     | 11.6 | -0.0 |
| 3 情報・通信業    | 10.6 | +1.3 |
| 4 電気機器      | 9.2  | +1.5 |
| 5 機械        | 7.3  | +0.1 |
| 6 卸売業       | 6.7  | -0.9 |
| 7 小売業       | 5.3  | +0.2 |
| 8 その他製品     | 4.8  | -0.1 |
| 9 建設業       | 3.8  | +0.2 |
| 10 ガラス・土石製品 | 3.0  | -0.4 |



※ 業種は東証業種分類です。

## 組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 175）

| 銘柄                  | 業種       | 比率  |
|---------------------|----------|-----|
| 1 伊藤忠商事             | 卸売業      | 2.0 |
| 2 富士フイルムホールディングス    | 化学       | 1.9 |
| 3 ローゼ               | 機械       | 1.9 |
| 4 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業      | 1.9 |
| 5 大阪有機化学工業          | 化学       | 1.8 |
| 6 トヨタ自動車            | 輸送用機器    | 1.7 |
| 7 MARUWA            | ガラス・土石製品 | 1.6 |
| 8 ライト工業             | 建設業      | 1.4 |
| 9 ソニーグループ           | 電気機器     | 1.4 |
| 10 セーレン             | 繊維製品     | 1.4 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「国内株式マザー：国内株式マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### <市場動向>

株式市場では、TOPIX（配当込み）の月間騰落率は2.84%の下落となりました。

上旬は、日銀短観で大企業・製造業の業況判断DIが事前の市場予想を上回ったことや、米バイデン政権による巨額のインフラ投資計画の発表などを好感する場面があったものの、国内企業の決算発表を控え様子見姿勢が強く、一進一退の展開となりました。中旬は、一部の業種などで決算発表が始まったものの、新年度の業績見通しが市場予想を下回る企業が相次いだことが嫌気されたほか、国内において新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、緊急事態宣言の再発令による景気下押し懸念が拡がり、下落しました。下旬は、国内企業の決算発表を踏まえ、個別銘柄を物色する動きは見られたものの、新年度の業績見通しに対する警戒は根強く、上値が重い展開となりました。業種別では、海運業、鉄鋼、証券、商品先物取引業などが市場をアウトパフォームした一方、電気・ガス業、医薬品、石油・石炭製品などがアンダーパフォームしました。

### <運用経過>

組入比率は概ね90%台後半で推移させました。

現物株式ポートフォリオでは、ローツェ、ベイカレント・コンサルティング、大阪有機化学工業、レーザーテック、富士フイルムホールディングスなどの株価上昇が基準価額に対してプラス寄与しました。

一方、エスプール、シップヘルスケアホールディングス、伊藤忠商事、パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、ミンカブ・ジ・インフォノイドなどの株価下落が基準価額に対してマイナスに影響しました。

現物株式の売買は、2021～22年度の2期平均増益率と株価水準を加味し魅力度が高まった、Kaizen Platform、シュッピン、ブイキューブ、ベイカレント・コンサルティング、レーザーテックなどの買入れを実施しました。一方、2021～22年度の2期平均増益率と株価水準を加味し魅力度が低下した、マックス、ニプロ、J.フロントリテイリング、大王製紙、アセンテックなどの売却を行いました。

### <市場見通し>

世界景気については、主要国における大規模な金融緩和と巨額の財政出動による景気下支えが続く中、ワクチン普及による経済正常化が加わり、回復基調が続くと考えます。株式市場については、もみ合う展開を想定します。主要国での景気に配慮した政策出動や、ワクチン普及による景気回復期待が引き続き支援材料になると考えます。一方、国内企業の2021年度業績見通しや業績回復ペースを見極めるため様子見姿勢が強まると考えられ

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「国内株式マザー：国内株式マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

るほか、国内で感染拡大が収束していないことによる景気下押し懸念などが株価の重石になると考えます。リスクについては、景気配慮型の政策出動の持続性やその効果に対する期待の剥落、物価および金利の急上昇などに留意する必要があると考えます。

### <今後の運用方針>

アナリスト、ファンドマネージャーによる定性、定量評価の高い銘柄を中心に、ポートフォリオを構築します。個別銘柄選択においては、株価の調整局面を利用して中長期的に有望な銘柄に焦点をあて、割高となった銘柄から割安な銘柄への入れ替えも行う方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「外国株式マザー：外国株式マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（％）

|     | 当月末   | 前月比  |
|-----|-------|------|
| 株式  | 97.9  | -0.3 |
| 先物等 | 0.0   | 0.0  |
| 現金等 | 2.1   | +0.3 |
| 合計  | 100.0 | 0.0  |

## 騰落率（税引前分配金再投資）（％）

|     | 基準日        | ファンド  |
|-----|------------|-------|
| 1か月 | 2021/03/31 | 6.9   |
| 3か月 | 2021/01/29 | 15.5  |
| 6か月 | 2020/10/30 | 32.3  |
| 1年  | 2020/04/30 | 48.6  |
| 3年  | 2018/04/27 | 52.9  |
| 設定来 | 2001/01/31 | 171.0 |

## 組入上位5カ国・地域（％）

|        | 当月末  | 前月比  |
|--------|------|------|
| 1 アメリカ | 74.1 | -0.4 |
| 2 フランス | 4.5  | +0.1 |
| 3 イギリス | 4.3  | -0.8 |
| 4 スイス  | 4.2  | -0.0 |
| 5 香港   | 2.7  | +0.5 |

## 組入上位5通貨（％）

|           | 当月末  | 前月比  |
|-----------|------|------|
| 1 アメリカドル  | 75.4 | +0.9 |
| 2 ユーロ     | 10.6 | -0.2 |
| 3 イギリスポンド | 4.3  | -0.8 |
| 4 スイスフラン  | 4.2  | -0.0 |
| 5 香港ドル    | 2.7  | +0.5 |

## 組入上位5業種（％）

|                 | 当月末  | 前月比  |
|-----------------|------|------|
| 1 ソフトウェア・サービス   | 16.6 | +1.5 |
| 2 メディア・娯楽       | 8.6  | +0.5 |
| 3 資本財           | 8.3  | +0.2 |
| 4 医薬品・バイオテクノロジー | 7.0  | -0.1 |
| 5 半導体・半導体製造装置   | 6.7  | -1.2 |

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

## 組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 85）

| 銘柄               | 国・地域 | 業種               | 比率  |
|------------------|------|------------------|-----|
| 1 アルファベット クラスA   | アメリカ | メディア・娯楽          | 4.4 |
| 2 フェイスブック        | アメリカ | メディア・娯楽          | 3.0 |
| 3 マイクロソフト        | アメリカ | ソフトウェア・サービス      | 2.0 |
| 4 インテグリス         | アメリカ | 半導体・半導体製造装置      | 1.9 |
| 5 ホーム・デポ         | アメリカ | 小売               | 1.8 |
| 6 バンク・オブ・アメリカ    | アメリカ | 銀行               | 1.7 |
| 7 アンシス           | アメリカ | ソフトウェア・サービス      | 1.7 |
| 8 アドビシステムズ       | アメリカ | ソフトウェア・サービス      | 1.7 |
| 9 ユナイテッドヘルス・グループ | アメリカ | ヘルスケア機器・サービス     | 1.7 |
| 10 キーサイト・テクノロジーズ | アメリカ | テクノロジー・ハードウェア・機器 | 1.7 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「外国株式マザー：外国株式マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### <市場動向>

4月の米国市場は上昇しました。月の前半は、長期金利が低下基調に転じるとともに、雇用統計などの堅調な経済指標を受けた景気回復期待などから上昇しました。後半は、法人税率やキャピタルゲイン税率の引き上げ観測、インド・南米における変異株の感染拡大や米中関係に対する懸念などから下落する局面もありましたが、決算発表で堅調な企業業績が確認されたことが相場を下支えしました。下旬に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）において予想通り政策金利が据え置かれ、金融緩和政策の長期的な維持が確認されたことも安心材料となりました。欧州市場も上昇しました。ユーロ圏および米中の経済指標が改善を示したことから、世界的な経済活動正常化が進展しているとの見方が強まりました。月中のECB（欧州中央銀行）理事会で政策金利が据え置かれるとともに、金利上昇抑制のため国債などの購入額が高水準で維持されたことも支援材料となりました。

（為替）当月末の米ドル/円は、前月末（110円台後半）から円高の108円台後半、ユーロ/円は前月末（129円台後半）から円安の131円台後半となりました。米ドル/円は、米金利の低下などを背景に米ドル安・円高となりました。ユーロ/円は、株価の上昇などリスク選好の動きやユーロ圏内でのワクチン接種進展に伴う景気回復期待を背景に、ユーロ高・円安となりました。

### <運用経過>

地域配分では、北米はオーバーウェイト（OW）、欧州のアンダーウェイト（UW）、環太平洋のニュートラルを維持しました。北米は相対的に底堅い企業業績が株価の下支え要因になると判断しました。欧州は業績の回復時期が遅れるとの見方からUWとしました。業種配分では、世界景気回復への移行や財政政策およびインフラ投資による需要拡大の観点から、シクリカル（景気変動の影響を受けやすい）業種である素材や資本財・サービスのOWを維持しました。一方で、ディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）業種である生活必需品などのUWを維持しました。また、堅調な半導体市況などの良好な需要環境を背景に情報技術のOWを維持しました。銘柄選択では、引き続き長期的な成長テーマから恩恵を受けてキャッシュフローが安定的に拡大する企業に注目する他、ワクチン接種の拡大に伴う経済活動の再開加速により恩恵を受ける銘柄のウェイトを上げました。

### <市場見通し>

米国市場は緩やかな上昇基調を予想します。バイデン大統領による政策とFRB（米連邦準備制度理事会）の金融緩和政策の継続が株価の下支え材料となるとみています。また、感染再拡大ペースは減速し、ワクチンの接種も進んでいることから、景気は再度回復局面へと移行しつつあります。業績については、2021年は対前年比で大

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用


 三井住友DSアセットマネジメント



# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「外国株式マザー：外国株式マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

幅な増益が見込まれており、緩やかな景気回復見通しのもと、株価は緩やかな上昇基調が当面続く予想します。但し、株価は高値圏で推移するなか、上昇ペースは徐々に鈍化する見通しです。

欧州市場も、緩やかな上昇基調を予想します。ワクチン接種の広がりにより、都市封鎖の措置は緩和方向に向かっていますが、長期化した都市封鎖による経済活動再開の遅れが株価の上値を抑制する可能性があります。一方で、金融・財政政策への期待に加えて、米国や中国の景気回復が相場のサポート材料になると予想します。

（為替）米ドル/円は、ワクチンの普及や大規模な経済対策による米国景気の先行き期待が米ドルの支援材料となりますが、FRBによるゼロ金利政策などを背景に米ドルの上昇も抑制される見通しです。ユーロ/米ドルに関しては、良好な投資家心理や欧州復興基金による投資拡大への期待が支援材料となり、ユーロが底堅く推移する見通しです。

## <今後の運用方針>

地域配分では、北米のOW、欧州のUW、環太平洋のニュートラルを継続します。業種では、今後想定される景気回復局面において恩恵を受けやすい素材や資本財・サービス、緩やかな景気回復局面においても相対的に高い成長が見込める情報技術を優位と判断します。銘柄選択においては、安定したキャッシュフロー成長が期待できる企業への投資を継続するとともに、人々の生活や企業活動の変化により、成長機会の恩恵を受ける銘柄を選別します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

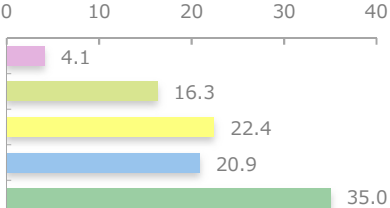
※ このページは「国内債券マザー：国内債券マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（％）

|     | 当月末   | 前月比  |
|-----|-------|------|
| 債券  | 98.8  | -0.1 |
| 先物等 | 0.0   | 0.0  |
| 現金等 | 1.2   | +0.1 |
| 合計  | 100.0 | 0.0  |

## 残存構成比率（％）

|       | 当月末  | 前月比  |
|-------|------|------|
| 1年未満  | 4.1  | -0.0 |
| 1-3年  | 16.3 | +1.9 |
| 3-7年  | 22.4 | -0.2 |
| 7-10年 | 20.9 | -3.8 |
| 10年以上 | 35.0 | +2.1 |

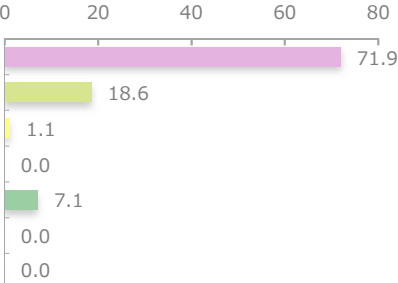


## 騰落率（税引前分配金再投資）（％）

|     | 基準日        | ファンド |
|-----|------------|------|
| 1か月 | 2021/03/31 | 0.2  |
| 3か月 | 2021/01/29 | 0.1  |
| 6か月 | 2020/10/30 | -0.0 |
| 1年  | 2020/04/30 | -0.8 |
| 3年  | 2018/04/27 | 1.5  |
| 設定来 | 2001/01/31 | 37.3 |

## 種別構成比率（％）

|       | 当月末  | 前月比  |
|-------|------|------|
| 国債    | 71.9 | +0.2 |
| 地方債   | 18.6 | -0.2 |
| 政府機関債 | 1.1  | -0.0 |
| 金融債   | 0.0  | 0.0  |
| 事業債   | 7.1  | -0.1 |
| 円建外債  | 0.0  | 0.0  |
| その他債券 | 0.0  | 0.0  |



## ポートフォリオ特性値

|            | 当月末  | 前月比  |
|------------|------|------|
| クーポン（％）    | 0.6  | -0.0 |
| 残存年数（年）    | 10.1 | +0.1 |
| デュレーション（年） | 9.4  | +0.1 |
| 直接利回り（％）   | 0.5  | -0.0 |
| 最終利回り（％）   | 0.1  | -0.0 |

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 組入上位10銘柄

（組入銘柄数 69）

| 銘柄                     | クーポン（％） | 残存年数（年） | 比率（％） |
|------------------------|---------|---------|-------|
| 1 第142回利付国債（5年）        | 0.100   | 3.6     | 5.8   |
| 2 第423回利付国債（2年）        | 0.005   | 1.9     | 5.7   |
| 3 平成25年度第5回愛知県公募債（15年） | 1.339   | 7.1     | 4.0   |
| 4 第350回利付国債（10年）       | 0.100   | 6.9     | 3.6   |
| 5 第67回利付国債（30年）        | 0.600   | 29.1    | 3.3   |
| 6 第146回利付国債（5年）        | 0.100   | 4.6     | 3.3   |
| 7 第356回利付国債（10年）       | 0.100   | 8.4     | 3.2   |
| 8 第422回利付国債（2年）        | 0.100   | 1.8     | 3.2   |
| 9 第360回利付国債（10年）       | 0.100   | 9.4     | 3.0   |
| 10 第355回利付国債（10年）      | 0.100   | 8.1     | 2.7   |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「国内債券マザー：国内債券マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### <市場動向>

長期金利（10年国債利回り）は、前月末の+0.095%から+0.097%と概ね同水準となりました。3月末に日銀が国債買入れオペの回数減による買入れ減額方針を示したことで、長期金利は月初に上昇して始まりまし。しかし、新年度入りしたことで国内機関投資家の資金消化需要は強く、新発国債の入札がいずれも順調に消化される中で、長期金利は低下へと転じまし。月後半には、海外金利の上昇一服や、国内で変異株による感染の拡大が警戒されたこともあり、長期金利は0.06%台まで低下しまし。月末にかけては、金利水準の低下に伴う買い手の減少や連休を控えたポジション調整の動きから、長期金利は緩やかな上昇に転じまし。

### <運用経過>

デュレーション（投資資金の平均回収期間）は、日銀の国債買入れ減額を踏まえて月初にショートとしました。その後、良好な需給環境が継続すると見込み、ロングへ変更しまし。月末にかけては、金利低下の一服を見込み、ロング幅を縮小しまし。残存期間構成は、デュレーションをロングとする過程で超長期ゾーンのアンダーウェイト（UW）を解消し、長期ゾーンとともにオーバーウェイト（OW）としました。

### <市場見通し>

国内景気はワクチン接種の進展や経済対策効果、外需の持ち直しにより、先行きは回復基調となる見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率はマイナス幅を縮小し、年後半にはプラスへ転じる見込みですが、物価安定目標の達成が見込める状況は想定していません。日銀は政策点検を通じて追加利下げ余地の明確化を図りましたが、実際に追加利下げが行われる状況にはないと想定していません。また、市場機能の回復のために長期金利の変動を促す一方で、長短金利操作目標を維持することで金利の過度な上昇は抑制する見通しです。長期金利は日銀が明確化した $0 \pm 0.25\%$ のレンジの中で、プラス圏での推移を想定します。

### <今後の運用方針>

上記の見通しのもと、デュレーションは金利水準に応じて機動的に変更します。残存期間構成は、デュレーション方針と整合性を保ちながら、金融政策の見通しやイールドカーブの形状変化に応じて変更します。種別セクター戦略では、信用リスクが大きい低格付けの事業債や円建外債の保有を抑制する一方、高格付け債を中心に事業債、地方債セクターの保有を継続します。個別銘柄選択では、発行体の信用力やスプレッド（国債に対する上乗せ金利）動向を注視して銘柄選択を慎重に行います。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「外国債券マザー：外国債券マザーファンド（A号）」の情報を記載しています。

※ 2011年5月11日以降、外国債券の組入マザーファンドは（D号）から（A号）に変更しております。

## 資産構成比率（%）

|     | 当月末   | 前月比  |
|-----|-------|------|
| 債券  | 98.7  | +0.5 |
| 先物等 | 0.0   | 0.0  |
| 現金等 | 1.3   | -0.5 |
| 合計  | 100.0 | 0.0  |

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

|     | 基準日        | ファンド  |
|-----|------------|-------|
| 1か月 | 2021/03/31 | -0.0  |
| 3か月 | 2021/01/29 | 1.2   |
| 6か月 | 2020/10/30 | 2.8   |
| 1年  | 2020/04/30 | 5.6   |
| 3年  | 2018/04/27 | 10.9  |
| 設定来 | 2001/01/31 | 145.4 |

## ポートフォリオ特性値

|            | 当月末 | 前月比  |
|------------|-----|------|
| クーポン（%）    | 2.0 | +0.0 |
| 残存年数（年）    | 9.3 | +0.0 |
| デュレーション（年） | 7.9 | -0.0 |
| 直接利回り（%）   | 1.7 | +0.0 |
| 最終利回り（%）   | 0.6 | +0.0 |

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 組入上位5通貨（%）

|             | 当月末  | 前月比  |
|-------------|------|------|
| 1 ユーロ       | 42.9 | +0.1 |
| 2 アメリカドル    | 42.1 | +0.6 |
| 3 イギリスポンド   | 6.4  | -0.2 |
| 4 オーストラリアドル | 2.1  | -0.1 |
| 5 カナダドル     | 2.0  | +0.0 |

## 組入上位5カ国・地域（%）

|        | 当月末  | 前月比  |
|--------|------|------|
| 1 アメリカ | 42.1 | +0.6 |
| 2 フランス | 15.8 | -6.2 |
| 3 スペイン | 15.0 | +6.2 |
| 4 ドイツ  | 7.1  | +0.0 |
| 5 イギリス | 6.4  | -0.2 |

## 組入上位10銘柄

（組入銘柄数 66）

| 銘柄       | クーポン（%） | 残存年数（年） | 比率（%） |
|----------|---------|---------|-------|
| 1 アメリカ国債 | 2.875   | 2.5     | 9.3   |
| 2 スペイン国債 | 0.400   | 1.0     | 6.4   |
| 3 アメリカ国債 | 2.250   | 6.3     | 6.1   |
| 4 アメリカ国債 | 2.875   | 4.6     | 5.6   |
| 5 アメリカ国債 | 0.625   | 9.0     | 4.8   |
| 6 フランス国債 | 4.000   | 17.5    | 3.8   |
| 7 フランス国債 | 0.000   | 8.6     | 3.8   |
| 8 アメリカ国債 | 1.125   | 19.0    | 3.4   |
| 9 スペイン国債 | 1.600   | 4.0     | 3.3   |
| 10 ドイツ国債 | 2.500   | 25.3    | 3.2   |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「外国債券マザー：外国債券マザーファンド（A号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### <市場動向>

（債券）当月末（現地4月29日）の米国長期金利（10年国債利回り）は1.63%と、前月末の1.70%から低下しました。ドイツ長期金利（10年国債利回り）は-0.19%と前月末の-0.29%から上昇しました。

米国では、強い経済指標などへの金利の反応は鈍く、ワクチンの接種進展や大規模な経済対策など金利上昇材料に対する織り込みが進んだことから、債券市場では買いが優勢な展開となり、金利は低下しました。ユーロ圏では、ECB（欧州中央銀行）によるPEPP（パンデミック緊急購入プログラム）など金融緩和政策が継続しましたが、徐々にワクチン接種が進み始めたことに加えて、これまでの行動制限措置を緩和する動きが見られる中、景気回復期待から金利は上昇しました。

（為替）当月末（4月30日）の米ドル/円は、前月末（110円台後半）から円高の108円台後半、ユーロ/円は前月末（129円台後半）から円安の131円台後半となりました。

米ドル/円は、米金利の低下などを背景に米ドル安・円高となりました。ユーロ/円は、株価の上昇などリスク選好の動きやユーロ圏内のワクチン接種進展に伴う景気回復期待を背景に、ユーロ高・円安となりました。

### <運用経過>

債券国別配分は、ユーロ圏内において、投資制限上の理由から格付の低いイタリアをアンダーウェイト（UW）とする一方、フランス、スペインのオーバーウェイト（OW）を継続しました。通貨配分は、中立を維持しました。デュレーション（投資資金の平均回収期間）は、米国では中旬に長めとしました。ユーロ圏では中旬に長めから中立に変更し、下旬に短めとしました。残存構成は、米国では長期・超長期OWとしました。欧州では中期OWから中立に変更しました。種別配分では、国債以外の債券の組入れを継続しました。

### <市場見通し>

（債券）米国では、ワクチン接種の進展や追加経済対策による景気の先行き期待に加えて、FRB（米連邦準備制度理事会）が金利上昇を容認する姿勢を見せていることから、長期金利は水準を切り上げていく見通しです。但し、金利の上昇要因に対する市場の織り込みも進んできていることから上昇ペースは緩やかなものとなる見通しです。

ユーロ圏でも、ワクチンの普及やEU（欧州連合）復興基金への期待から長期金利には上昇圧力がかかりますが、ECBによる資産購入策など金融緩和政策を背景に、金利の上昇は抑制されていく見通しです。

（為替）米ドル/円は、ワクチンの普及や大規模な経済対策による米国景気の先行き期待が米ドルの支援材料と

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

※ このページは「外国債券マザー：外国債券マザーファンド（A号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

なりますが、FRBによるゼロ金利政策などを背景に米ドルの上昇も抑制される見通しです。ユーロ/米ドルに関しては、良好な投資家心理や欧州復興基金による投資拡大への期待が支援材料となり、ユーロが底堅く推移する見通しです。

### <今後の運用方針>

債券国別配分は、ユーロ圏内において格付の低いイタリアのUW、フランス、スペインのOWを継続します。

通貨配分は、景況感格差や金融政策の方向性の違い、相場動向などを踏まえて機動的に対応します。

デュレーションや残存構成は、景気情勢に加えて、金融政策動向や需給環境を踏まえて機動的に対応します。

種別配分は、利回りの向上を図る目的で国債以外の債券の組入れを継続します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# 三井住友・ライフビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

## ファンドの特色

1. 主として内外の株式および公社債に投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指した運用を行います。
2. 以下の基本資産配分比率を基準として、各マザーファンドおよび短期金融資産等に投資を行います。

### [各ファンドの基本資産配分比率]

|         | [30（安定型）] | [50（標準型）] | [70（積極型）] |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 国内株式：   | 20%       | 30%       | 40%       |
| 外国株式：   | 10%       | 20%       | 30%       |
| 国内債券：   | 45%       | 30%       | 15%       |
| 外国債券：   | 20%       | 15%       | 10%       |
| 短期金融資産： | 5%        | 5%        | 5%        |

- 信託期間中は、原則として上記の基本資産配分±5%の範囲の組入比率を維持するものとし、基本資産配分と運用により変動する実際の資産構成比率との乖離は、原則として一定期間毎に見直し、上記基本資産配分に準じた構成比率に修正を行うものとします。
- 急激な値動きにより特定の資産の構成比率と基本資産配分との乖離が5%を超えた場合には、各資産の構成比率が基本資産配分±5%の範囲に収まるよう、各資産の組入比率を調整するものとします。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ 各ファンドの略称として、以下のようになっています。

- 三井住友・ライフビュー・バランスファンド30（安定型）⇒30（安定型）
- 三井住友・ライフビュー・バランスファンド50（標準型）⇒50（標準型）
- 三井住友・ライフビュー・バランスファンド70（積極型）⇒70（積極型）

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

#### ■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

#### ■ 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

#### ■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 三井住友・ライフビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

## 投資リスク

### ■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

### ■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

### 〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。



# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

## お申込みメモ

### 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

### 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

### 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

### 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

### 信託期間

無期限（2001年1月31日設定）

### 決算日

毎年1月30日（休業日の場合は翌営業日）

### 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※ 販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

### 課税関係

● 課税上は株式投資信託として取り扱われます。

30（安定型）：配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

50（標準型）：配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

70（積極型）：配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

# 三井住友・ライフビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に以下の率を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。  
30（安定型）：0.99%（税抜き0.90%）  
50（標準型）：1.21%（税抜き1.10%）  
70（積極型）：1.43%（税抜き1.30%）
- 信託財産留保額  
ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
各ファンドの純資産総額に以下の率を乗じた額です。  
30（安定型）：年0.99%（税抜き0.90%）  
50（標準型）：年1.21%（税抜き1.10%）  
70（積極型）：年1.43%（税抜き1.30%）
- その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

## 委託会社・その他の関係法人等

|      |  |
|------|--|
| 委託会社 | ファンドの運用の指図等を行います。<br>三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号<br>加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会<br>ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a><br>コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） |
| 受託会社 | ファンドの財産の保管および管理等を行います。<br>三井住友信託銀行株式会社   |
| 販売会社 | ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。   |

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 三井住友・ライブビュー・バランスファンド 30（安定型）/50（標準型）/70（積極型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2021年04月30日

## 販売会社

| 販売会社名                | 登録番号                     | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融商品取引業協会 | 日本一般社団法人<br>投資顧問業協会 | 金融先物取引業協会 | 一般社団法人<br>投資信託協会 | 備考 |
|----------------------|--------------------------|---------|---------------------|---------------------|-----------|------------------|----|
| a uカブコム証券株式会社        | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号  | ○       |                     | ○                   | ○         |                  |    |
| 株式会社SBI証券            | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号  | ○       | ○                   |                     | ○         |                  |    |
| 岡三オンライン証券株式会社        | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号  | ○       |                     | ○                   | ○         |                  |    |
| 松井証券株式会社             | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号 | ○       |                     |                     | ○         |                  |    |
| マネックス証券株式会社          | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号 | ○       | ○                   | ○                   | ○         |                  |    |
| 楽天証券株式会社             | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 | ○       | ○                   | ○                   | ○         |                  |    |
| 株式会社富山第一銀行           | 登録金融機関 北陸財務局長（登金）第7号     | ○       |                     |                     |           |                  |    |
| 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 |         | ○                   | ○                   |           | ○                |    |

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

